

3 学期終業式「式辞」に代えて

校長 中城 牧彦

第71回卒業証書授与式

突然臨時休業となり、きちんとした挨拶をすることもなく、本年度が終了しようとしています。他校が在校生の出校を見合わせる中、式に臨席することはできませんでしたが、惟信高校では在校生出校のもと、第71回卒業生を送り出すことができました。いつまでも「心の学校」であることを、大変誇らしく、そして、ありがたく思っています。

新型コロナウイルスが日本社会を変える

さて、この臨時休業中、その意味を考えて、しっかりとした自覚のもと、今年度の復習、新年度に向けての準備はできていたでしょうか？ 様々な報道がなされる中、今回の新型コロナウイルスへの対応が、日本社会の在り方を大きく変える可能性があることを指摘する意見が多数見られます。よく耳にする「テレワーク」や「ビデオ会議」、Society5.0への進化・スピードアップ等、社会のデジタル化が一層進んでいくことになる、ひいては、人間関係の在り方、人間の生き方にまで影響を与えると言う人がいます。

今がチャンス！ （「スタ・サブ」を活かせ！）

惟信生は、他を出し抜いて自分が…という感覚をあまり持ち合わせていないというのが私の実感です。しかし、入学試験でも就職試験でも、他者よりも秀でたものが必要になります。他者と比較することが重要なのではなく、自らの意志で、自らの責任として、「自らのタスク」を全うする、わからなかった学習範囲を徹底的に復習して地力をつける、将来に向けて準備する、そんなことができる大きなチャンスです。

公立高校ではほとんど導入されていない「スタディサプリ」を、惟信高校はいち早く導入しました。「サプリ」として、どんどん活用してください。本当に今がチャンスです。

自ら考えて、自ら行動する

今後IT化がさらに進み、将来AIが人間の仕事を奪っていくと言われています。AIには高い事務処理能力があり、「記憶・識別・推測」といった面においては、人智をはるかに超えるものがあります。しかし、万能ではなく、人間にしかできないことがあります。「創造性」や「対人関係」がそれに当たると言われています。自ら考えて、自ら行動することなしに、それらの力を身につけることはできません。

惟信高校には、「人間性」を育む土壌があります。そうした環境を活かし、教育目標にある「高い知性」「豊かな心」「ねばり強い体力」の醸成に向けて、頑張りましょう！

皆さんがいないと、自然と笑みがこぼれることがあります。笑顔で挨拶できる日まで、元気に頑張ってください。「展・準・努」ですよ！

(R2.3.19)